

V 新しい未来を切り拓き『住み続けられるまち』への変革予算

◆ さんだ里山スマートシティの推進

《事業の目的》

様々な三田の課題について、ICT・IoT・AIなどのデジタル技術の戦略的な活用とデータ利活用により、「市民一人ひとりが幸せを実感しながら住み続けられる持続可能なまち三田」を目指します。

事業費	金額
国・県	2億4,717万円
市債	
その他	1,243万円
市税等	753万円

《事業の内容》

- ◆ デジタル活用健康づくり事業 【P20 参照】（健康増進課） 1,913万円
（財源：国・県1,808万円、基金105万円）
- ◆ デジタル活用サポート事業（いきいき高齢者支援課） 33万円
・初めて触るスマホ教室
・スマホサポーター養成講座
（財源：市税等33万円）
- ◆ 見守りタグによる認知症高齢者等支援事業 【P31 参照】（いきいき高齢者支援課） 151万円
（財源：市税等151万円）
- ◆ 市立就学前施設 ICT システム導入事業 【P21 参照】（保育振興課・幼児教育振興課） 467万円
（財源：国・県233万円、基金234万円）
- ◆ 市内ネウボラ拠点デジタル環境整備 【P30 参照】（すくすく子育て課） 140万円
（財源：国・県45万円、基金10万円、市税等85万円）
- ◆ あすなろ e-school～メタバースを活用した新たな学びの空間～ 【P23 参照】（学校教育課） 295万円
（財源：市税等295万円）
- ◆ スマート図書館サービス整備事業 【P27 参照】（文化スポーツ課） 2億3,088万円
（財源：国・県2億2,479万円、基金609万円）
- ◆ 要介護認定調査・介護認定審査会のデジタル活用（介護保険課） 289万円
病院等における要介護認定のオンライン面会調査と介護認定審査会のペーパーレス化を推進します。
（介護特会 財源：国・県144万円、市税等145万円）
- ◆ 市役所のスマート化 159万円
・オンライン手続きの機能拡張（デジタル戦略課）
・オンライン相談環境の充実（デジタル戦略課）
・窓口のあり方の調査・研究（デジタル戦略課）
・総合福祉保健センターでの遠隔手話通訳サービス（障害福祉課）
・タブレットを用いた窓口申請支援（障害福祉課）
（財源：国・県8万円、基金107万円、市税等44万円）
- ◆ ドローンの活用（上水道課） 178万円
水道施設の点検にドローンを活用し、施設管理のスマート化を図ります。
（水道事業会計 財源：その他178万円）

※コロナに負けるな！さんだエール基金、
ありがとう！三田っ子応援基金を活用して実施します。



◆ さんだスタートアップシティの推進

《事業の目的》

起業や新規就農など、新たなビジネスの立ち上げ等にチャレンジする人を増やし、まちの成長のエンジンとするため、夢とやる気を積極的にサポートすることで、「スタートアップに優しいまち三田」を目指します。

事業費		1,494万円
財源	国・県	
	市債	
	諸収入	30万円
	市税等	1,464万円

《事業の内容》

- ◆ スタートアップアカデミー事業【P33 参照】（産業政策課） 20万円
（財源：市税等 20万円）

- ◆ スタートアップ情報の発信（産業政策課） 15万円
スタートアップに関する情報や三田で事業展開している先輩起業家の紹介、体験談等を市HPに掲載します。
（財源：市税等 15万円）

- ◆ 起業家育成海外インターンシップ事業（産業政策課） 131万円
創業意欲のある者を対象に、ニューメキシコ大学イノベーションアカデミーが運営する起業家育成プログラムを受講する機会を提供します。
（財源：市税等 131万円）

- ◆ 地域活躍人材育成プログラム事業《スモカモスプロジェクト》 191万円
（若者のまちづくり課）
地域課題と若者の問題意識を関連づけ、若者と地域・企業をつなげるプログラムを実施します。
（財源：諸収入 2万円、市税等 189万円）

- ◆ さんだ生涯学習カレッジ研究科創業支援コース（いきいき高齢者支援課） 120万円
シニア世代を対象に、地域課題をビジネスで解決するための講座を実施します。
（財源：諸収入 20万円、市税等 100万円）

- ◆ 商工会創業支援事業等にかかる補助金（産業政策課） 673万円
商工会が実施する実践創業塾や創業支援セミナーの開催、経営の相談・指導など起業家をサポートする事業を支援します。
（財源：市税等 673万円）

- ◆ トライアルショップ応援事業（産業政策課） 66万円
気軽にお試し出店ができる店舗を提供します。
（財源：諸収入 8万円、市税等 58万円）

- ◆ チャレンジショップ応援事業【P33 参照】（産業政策課） 200万円
（財源：市税等 200万円）

- ◆ 親方農家支援事業（農業創造課） 48万円
新規就農者の増加を図るため、生産技術又は農業経営知識等の習得における指導的役割を担う親方農家が就農希望者に対して行う研修活動を支援します。
（財源：市税等 48万円）

- ◆ 農業研修受講料助成事業【P34 参照】（農業創造課） 30万円
（財源：市税等 30万円）

◆ ゼロカーボンシティへの挑戦

《事業の目的》

令和4年度に策定する「さんだゼロカーボンシティ推進計画」に基づき、2030年度温室効果ガス49%削減を目標として、市民・事業者・行政が一体となる取り組み「さんだ脱炭素カウントダウン作戦」を展開します。

《さんだゼロカーボンシティ推進計画の基本理念》

③ 田市でCO₂ ② の排出をみんなと① 一緒に④ にしよう！

事業費		1億5,185万円
財源	国・県	125万円
	市債	4,430万円
	その他	8,842万円
	市税等	1,788万円

《事業の内容》

<地域と共生する再生可能エネルギーの導入>

- ◆ 公共施設への太陽光発電設備設置促進（各施設所管課） 8,013万円
消防本部庁舎（消防本部）、聖苑（環境創造課）、三田保育所（保育振興課）に太陽光発電設備等を設置します。
（財源：市債4,200万円、その他3,328万円、市税等485万円）

<更なる省エネルギー対策>

- ◆ ゼロカーボンシティアプリ実証実験（環境創造課） 65万円
多様な脱炭素行動の周知と市民の行動変容を促す『ゼロカーボンシティアプリの導入』に向け、R4年度に神戸大学と共同開発したアプリを活用し、R5年度は市民向けの実証実験を行います。
（財源：基金65万円）
- ◆ 次世代自動車の導入（総務課）・次世代自動車充電設備維持管理（環境創造課）
電気自動車1台を追加導入・公共用駐車場充電インフラ管理経費 336万円
（財源：市債230万円、その他9万円、市税等97万円）

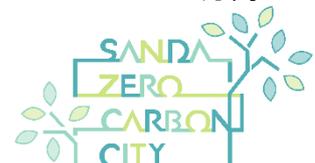
<CO₂の排出抑制と吸収機能の保全・拡充>

- ◆ 木の駅プロジェクト推進事業 【P38参照】（里山のまちづくり課） 523万円
（財源：市税等523万円）
- ◆ バイオマスプラスチックごみ袋導入 【P38参照】（クリーンセンター） 5,412万円
（財源：基金1,326万円、その他4,086万円）
- ◆ 新ごみ処理施設整備事業 【P38参照】（クリーンセンター） 375万円
（財源：国・県125万円、市税等250万円）

<脱炭素意識の醸成によるオール三田での取り組み>

- ◆ ロゴマーク付き商品の販売（環境創造課） 5万円
マイボトル・マイカップ持参運動と連動した「さんだゼロカーボンシティ」のロゴマーク付き商品（ボトル）を販売。売り上げの一部を活用し、植樹などのゼロカーボン施策を実施します。（財源：その他5万円）
- ◆ 環境セミナー開催（環境創造課） 36万円
子どもを対象とした次世代エネルギー工作教室など
（財源：その他3万円、市税等33万円）
- ◆ ゼロカーボンシティ推進啓発冊子作成費等（環境創造課） 50万円
（財源：基金20万円、市税等30万円）
- ◆ 第4次さんだエコプラン21策定（環境創造課） 370万円
（財源：市税等370万円）

※コロナに負けるな！さんだエール基金、グリーン・クリーン基金を活用して実施します。



(1) 「ひと」のチカラを育み、生きるまち
ア 地域で支えるまちづくり・協働



①【拡】協働事業提案制度補助（協働推進課）

《事業の目的》

地域社会の課題解決につながる公益的事業を支援し、多様な市民のまちづくりへの参加機会の創出を通じた「共創のまちづくり」を推進します。

《事業の内容》

- ◆ スタート支援コース（1 提案あたり上限 10 万円）
- ◆ ステップアップ支援コース（1 提案あたり上限 20 万円）
- * 令和 4 年度の実績を踏まえて事業費を拡充します。

事業費	200 万円
財源	国・県
	市債
	その他
	市税等

イ 健康づくり

①【新】デジタル活用健康づくり事業（健康増進課）

《事業の目的》

マイナンバーカードを活用したポイント付与型アプリ導入により、市民の生活習慣改善と主体的な健康づくり活動を推進します。また、健康データを収集・検証し、今後の健康増進施策に利活用します。

《事業の内容》

- ◆ アプリ導入費用
- ◆ 説明会費用等
- * コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

事業費	1,913 万円	
財源	国・県	1,808 万円
	市債	
	基金	105 万円
	市税等	

1,905 万円
8 万円

ウ 乳幼児期の育ち

①【新】病児・病後児保育直営実施（保育振興課）

《事業の目的》

市委託事業として実施してきた「病児・病後児保育事業」が終了したため、市直営で実施することにより、引き続き就労や子育てのセーフティネットを確保します。

《事業の内容》

多世代交流館内の専用スペースで病児・病後児保育を実施します。

- ◆ 保育士人件費 1,050 万円
- ◆ 訪問看護委託料 330 万円
- ◆ その他運営費 191 万円

事業費	1,571 万円	
財源	国・県	536 万円
	市債	
	諸収入	14 万円
	市税等	1,021 万円

②【新】こどもの安心・安全対策支援事業（保育振興課）

《事業の目的》

民間就学前施設に対して送迎バスの安全装置装備などの費用を補助することで、子どもの安全を守るための対策を講じるとともに保護者の不安を解消します。

《事業の内容》

民間就学前施設に対して、以下の費用を補助します。

- ◆ 送迎バスの安全装置の整備・改修費 72万円
- ◆ 登園管理システム整備費 448万円
- ◆ ICTを活用したこどもの見守り支援システム整備費 48万円
(見守りタグ(GPS))

事業費		568万円
財源	国・県	444万円
	市債	
	その他	
	市税等	124万円

- * 市立保育所と開設予定の認定こども園にも登園管理システムを整備します。
- * 市立特別支援学校、小学校の送迎バスについても安全装置を装備します。

③【新】就学前施設 ICT システム導入事業（保育振興課・幼児教育振興課）

《事業の目的》

市立就学前施設（三田保育所・認定こども園）に ICT システムを導入することで、施設と保護者間での連絡手段の利便性を高めつつ、業務効率化を図ります。

また、認定こども園には通園バスの位置情報をアプリで確認できる機能を持たせることで園児の安全を守ります。

《事業の内容》

就学前施設に ICT システムを導入します。

- ◆ タブレット等備品購入 183万円（保育所 131万円、認定こども園 52万円）
- ◆ 初期導入費 177万円（保育所 94万円、認定こども園 83万円）
- ◆ アプリ使用料 107万円（保育所 65万円、認定こども園 42万円）

事業費		467万円
財源	国・県	233万円
	市債	
	基金	234万円
	市税等	

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

④ 広野幼稚園大規模改修事業 志手原幼稚園大規模改修設計委託事業（幼児教育振興課）

《事業の目的》

広野幼稚園・志手原幼稚園について、それぞれ（仮称）三田西・三田東認定こども園として活用するための改修工事・改修工事設計を行います。

《事業の内容》

- ◆ 広野幼稚園大規模改修工事 2億3,700万円
- ◆ 志手原幼稚園大規模改修設計 3,914万円

事業費		2億7,614万円
財源	国・県	3,029万円
	市債	2億1,210万円
	基金	3,375万円
	市税等	

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

⑤【新】市立認定こども園開園準備業務（幼児教育振興課）

《事業の目的》

新設する市立認定こども園の開園に向けて準備を進めます。

令和6年度（仮称）三田西認定こども園開園

（現：広野幼稚園を活用）

令和7年度（仮称）三田東認定こども園開園

（現：志手原幼稚園を活用）

事業費		527万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	506万円
	市税等	21万円

《事業の内容》

- ◆ 通園バス3台リース（R5は1か月分のみ） 21万円
 - ・ 閉園する本庄幼稚園と藍幼稚園の園区の園児を（仮称）三田西認定こども園に送迎するためのバス 2台
 - ・ 志手原幼稚園改修中に代替施設となる小野幼稚園まで志手原幼稚園の園児を送迎するためのバス 1台
- ◆ 通園バス3台運行委託（R5～R8の債務負担行為5,568万円 R5は支出なし）
- ◆ （仮称）三田西認定こども園開園に向けた備品購入や園児の事前交流 506万円
- ◆ 給食等外部委託業務（R5～R8の債務負担行為2,278万円 R5は支出なし）
 - ・ 給食センターが給食を提供していない期間（長期休業中等）に給食等の提供を行う。

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

エ 地域ぐるみの子育て

①【拡】放課後児童クラブ長期休業期間における受入時間繰り上げ（健やか育成課）

《事業の目的》

長期休業期間における放課後児童クラブの受入時間を30分繰り上げることで、長期休業期間において児童が自宅等で1人になる時間を減らし、保護者が安心して子育てができる環境を整えます。

《事業の内容》

- ◆ 受入時間：8時～
- ◆ 委託内容：施設開錠及び8時～8時30分までの見守り業務委託

事業費		243万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	243万円

②【新】地域部活動推進事業（学校教育課・文化スポーツ課）

《事業の目的》

中学校の部活動の円滑な地域移行に向けて、関係者への啓発や理解促進など、課題解決に取り組みます。また、指導者の育成や地域団体等の受け入れ環境の整備を図ります。

《事業の内容》

- ◆ 推進委員会による課題整理や研究の推進 13万円
- ◆ 保護者や教職員への啓発活動 22万円
- ◆ 地域団体等を対象とした講習会の開催 20万円
- ◆ 受け入れ団体に対する支援 50万円

事業費		105万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	105万円

オ 学校教育の充実

①【拡】部活動指導員配置事業（学校教育課）

《事業の目的》

部活動指導員を増員することで、中学校における部活動指導体制を充実させ、部活動を担当する教員の負担を軽減するとともに、部活動の質的な向上を図ります。

*現在10名配置 → R5 12名へ拡充

《事業の内容》

- ◆ 部活動指導員への報酬 492万円
- ◆ 部活動指導員の旅費、交通費 113万円

事業費		605万円
財源	国・県	375万円
	市債	
	その他	
	市税等	230万円

②【新】不登校等対策事業（学校教育課）

《事業の目的》

不登校及び別室登校など学校生活に適應できない児童生徒の増加への新たな対策として、3種類の支援策を講じることで一人一人に応じたアプローチをし、社会的自立につなげます。

《事業の内容》

- ◆ 小学校子どものこころの支援員配置 116万円
 - ・小学校に「子どものこころの支援員」を配置し、児童が気軽に悩みを相談できる環境を整えます。
- ◆ こころとからだの自立に向けた相談会 10万円
 - ・ひまわり特別支援学校等において、子どもの状態に応じ、動作学習等を行うことで、こころとからだの緊張を緩め、セルフコントロール力を向上させます。
- ◆ あすなる e-school～メタバースを活用した新たな学びの空間～ 295万円
 - ・GIGA スクール端末を活用し、メタバース空間でのコミュニケーションや学習を通して、社会や人との関わりを持つきっかけとします。

事業費		421万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	421万円

③【新】小学校体力・運動能力アップサポーター派遣事業（教育研修所）

《事業の目的》

専門性の高い指導員から、運動に必要な基本的な体の動かし方を学び、児童が体をうまくコントロールする心地よさや運動する楽しさを味わい、体力や運動能力の向上を図ります。

また、教員も指導員から指導方法を学ぶことで、指導力を向上させ、児童の体力向上につながる体育科の授業改善を行います。

《事業の内容》

- ◆ 各学校へ指導員を派遣して体育授業を行う。

事業費		105万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	105万円

④【新】小学校水泳授業モデル実施（教育研修所）

《事業の目的》

小学校へ指導員を派遣して水泳授業を実施することで、児童の水泳技能の向上、水泳指導に関する教員の負担とプール維持管理コストの低減を図ります（一部の小学校で試行実施）。

事業費		298万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	298万円

《事業の内容》

- ◆ 水泳授業民間施設利用モデル事業 283万円
近隣スポーツ施設で水泳授業を行い、指導員から泳法を学ぶ（三輪小）。
- ◆ 小規模校合同水泳指導モデル事業 15万円
志手原小の児童が小野小へ集まり合同で水泳授業を行い、指導員から泳法を学ぶ。

* 指導員への謝礼は小学校体力・運動能力アップサポーター派遣事業から支払います。

⑤【新】上野台・八景中学校新設校建設事業費（学校再編課）

《事業の目的》

上野台・八景中学校統合に伴う新中学校建設のための候補地調査業務を行います。

事業費		500万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	500万円
	市税等	

《事業の内容》

- ◆ 候補地調査業務

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

⑥【新】学校給食費保護者負担軽減事業（学校給食課）

《事業の目的》

学校給食において給食材料費等が高騰するなかで、保護者に追加負担を求めることなく、市が高騰分を負担することにより、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を提供します。

事業費		2,881万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	2,881万円
	市税等	

《事業の内容》

- ◆ 給食材料費、ガス代、重油代の高騰分を市が負担します。

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

カ 若者が集うまち

①【拡】さんだ移住・定住促進アクションプログラム関連事業（各所管課）

《事業の目的》

三田のまちが暮らしやすく、いつまでも住み続けられる「魅力があるまち」であることを市内外に広く周知するとともに、市内の若者の定住や市外からの移住を後押しする移住・定住施策を展開します。それにより、市内からの転出者を減らし、市外からの移住者を増やします。

事業費		3,472万円
財源	国・県	1,830万円
	市債	
	基金	600万円
	市税等	1,042万円

《事業の内容》

「三田ですっと暮らそうよ」プロジェクト ～ 3つの応援で 三田ですっと暮らそうよ ～

< 若者の結婚を応援 >

- ◆ 結婚新生活支援事業 ～ハッピーウエディング応援制度～（若者のまちづくり課）
（財源：国・県 1,200万円、市税等 600万円） 1,800万円
三田市内で新生活をスタートさせる新婚世帯のスタートアップ費用を支援します。
・対象者：夫婦とも 39歳以下で世帯所得 500万円以下の世帯
・対象経費：住宅取得費、リフォーム費用、住宅賃借費用、引っ越し費用
・補助額：上限 30万円
（夫婦とも 29歳以下の場合は、上限 60万円）

< 住み替えを応援 >

- ◆ 住み替え支援補助事業 ～「住みかエ〜ル」補助制度～（若者のまちづくり課）
（財源：基金 600万円） 600万円
市内・市外の若年世帯・子育て世帯の住み替えを支援します。
・対象者：市内の指定地域で新築・中古住宅を購入する、下記いずれかの世帯
・若年世帯（夫婦の満年齢が 80歳未満の世帯）
・子育て世帯（18歳以下の子どもがいる世帯）
・若年独身者（40歳未満の単身者）
・補助額：1世帯あたり 20万円
- ◆ 空き家リフォーム補助（都市政策課） 1,025万円
（財源：国・県 630万円、市税等 395万円）
市街化区域の空き家を購入しリフォームする場合の補助制度で、戸建住宅に加えて共同住宅にも対象を拡大します。
・補助額：戸建住宅 100万円、共同住宅 65万円

< 移住希望者を応援 >

- ◆ 大阪での出張相談会・移住 PR 強化（若者のまちづくり課） 5万円
（財源：市税等 5万円）
「ふるさと暮らし情報センター」での出張相談会開催など、移住 PR を強化します。
- ◆ 「東京でも三田会」の立上げ（若者のまちづくり課） 42万円
（財源：市税等 42万円）
首都圏の三田出身者を関係人口としてつながりを築き、コミュニティ化するとともに移住 PR を行います。

②【新】三田駅前Cブロック再開発事業での公益的施設整備（若者のまちづくり課）

《事業の目的》

三田駅前Cブロック地区再開発事業での商業棟オープンにあわせて公益的施設を整備します。多様な人材が交流し、三田の未来をつくる「人・知の拠点」を目指し、「(仮称)若者のまちづくり交流センター」を整備します。

事業費		1,300万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	1,300万円

《事業の内容》

- ◆ 施設概要 商業棟 4階 約 620 m²
- ◆ スケジュール
 - 令和5年度 市民等からの意見聴取、運用要件整理、設計要件整理
 - 令和6年度 実施設計、運営要件確定
 - 令和7年度 施設整備、運営事業者公募・決定
 - 令和8年度 オープン

③【新】若者のまちづくり検討会議の設置（若者のまちづくり課）

《事業の目的》

本市の若者のまちづくり施策について議論し、若者のまちづくりの機運を醸成することを目的として、検討会議を設置します。

事業費		37万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	37万円

《事業の内容》

- ◆ 検討内容
 - ・若者のまちづくり施策に関する検証と理念の整理、推進方策や活動拠点、地域・企業とのつながり、大学連携の在り方など
 - ・「(仮称)若者のまちづくり交流センター」の機能やプログラム内容
- ◆ 構成案 若者（学生）、子育て世代、地域代表、市内外事業者、学識者など10名程度
- ◆ 設置期間 令和5年5月から1年程度

キ いつまでも学び、活躍できるまちづくり

①【拡】スマート図書館サービス整備事業（文化スポーツ課）

《事業の目的》

図書館本館・分館・分室にＩＣタグを活用したセルフ貸出機等を導入し、利用者の利便性向上を図ります。
また、オンラインでの利用者登録など、利用環境の整備を進めます。

《事業の内容》

- ◆ 非接触、短時間、プライバシーに配慮した貸出手続きの実現
- ◆ オンラインによる利用者登録の実施
- ◆ 電子図書の充実

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

事業費		2億3,088万円
財源	国・県	2億2,479万円
	市債	
	基金	609万円
	市税等	

② 総合文化センターPFI導入支援業務委託（文化スポーツ課）

《事業の目的》

総合文化センター（郷の音ホール）の持続可能な施設運営を目指し、民間の資金と経営ノウハウを活用するため、PFI手法導入に向けた取り組みを進めます。
（債務負担行為：R6～7 1,295万円）

《事業の内容》

- ◆ 実施方針（案）や要求水準書（案）の作成・支援
- ◆ 民間事業者との対話（サウンディング）の実施など

事業費		2,205万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	2,205万円

(2) 支えあい、安全安心に暮らせるまち ア 地域医療の安心



① 市民病院事業会計支出金（財政課）

《事業の目的》

三田市民病院は地域の中核病院として救急を中心とする急性期医療を担っており、地域医療に貢献しています。

今後も良質な高度医療で、地域に安心な医療を提供し市民のみなさんの支えとなる病院であり続けるため、一般会計からの支援を行います。

《事業の内容》

- ◆ 地方公営企業への繰出基準に基づくもの
 - ・ 救急医療に要する経費
 - ・ 高度医療に要する経費
 - ・ 小児医療に要する経費
 - ・ 建設改良に係る企業債の償還経費等
- ◆ 市独自支援
 - ・ 市民病院経営安定化支援分
 - ・ 医師修学資金貸与制度

事業費		17億円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	17億円

15億8,004万円
3億8,469万円
1億4,347万円
6,829万円
9億8,359万円
1億1,996万円
1億226万円
1,770万円

②【新】 新統合病院整備関連事業（地域医療推進課・市民病院事務局）

《事業の目的》

医師の確保や施設の老朽化の問題を解決し、市民の命を将来にわたって守り抜くため、三田市民病院と済生会兵庫県病院を再編統合し、新統合病院を整備することにより、三田・北神地域の急性期医療の充実を目指します。

事業費	1億3,448万円	
財源	国・県	
	市債	8,710万円
	その他	
	市税等	4,738万円

《事業の内容》

- ◆ 新統合病院基本計画等策定事業（地域医療推進課）
高齢化に伴う医療需要の増加等を見据え、三田・北神地域の急性期医療の充実を図るため、新統合病院の詳細な医療機能等を定めた基本計画等を策定します。
[債務負担行為] 令和6年度に270万円。総額は2,900万円。2,630万円
- ◆ 現三田市民病院跡地活用調査事業（地域医療推進課）
地域課題の抽出、類似事例の把握、マーケットサウンディング調査等により、三田市民病院の跡地の有効活用に関する調査を行います。1,200万円
- ◆ 新統合病院整備に伴う市内交通影響等調査事業（地域医療推進課）
将来交通量の推計、影響交差点の抽出、交通課題の整理等により、病院移転に伴う市内交通への影響調査、対応方針の検討を行います。890万円
- ◆ 地域医療懇話会開催事業（地域医療推進課）
三田市の地域医療提供体制における課題を洗い出し、地域医療に関する新たな協議体制の構築に向けた検討を行う懇話会を開催します。18万円
[委員構成] 市内医療機関院長9名、医師会会長、歯科医師会会長、薬剤師会会長
- ◆ 新統合病院整備候補地基礎調査事業（市民病院事務局）
用地の測量、物件調査、農業廃止補償調査及び行政手続等に要する資料作成を行います。8,710万円
[債務負担行為] 令和6年度に6,150万円。総額は1億4,860万円。
[財源] 病院事業債（特別分）を活用します。
*三田市民病院事業会計予算

《スケジュール》

	令和5年度	令和6年度
新統合病院基本計画等策定事業		
現三田市民病院跡地活用調査事業		
新統合病院整備に伴う市内交通影響等調査事業		
地域医療懇話会開催事業		
新統合病院整備候補地基礎調査事業		

イ 生活の安全安心・非常時への備え

①【新】AI を活用した SNS 等からの情報収集システム導入（危機管理課）

《事業の目的》

近年多発している局地的な豪雨災害等に備え、クラウドサービスの導入によって被害状況等の情報をリアルタイムかつ網羅的に収集することを可能にし、災害対応にあたって有効に活用します。

《事業の内容》

◆ クラウドサービス利用料

* SNS (Twitter 等) 上に投稿・発信された動画や画像などを AI 技術等により解析します。

事業費		63 万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	63 万円

②【新】防犯カメラ設置補助事業（危機管理課）

《事業の目的》

地域安全まちづくり活動を支援するため、地域団体が行う防犯カメラ設置に要する経費の一部を補助することにより地域の見守り力向上を図ります。

《事業の内容》

◆ 補助金額 1 か所あたり上限 6 万円

事業費		30 万円
財源	国・県	15 万円
	市債	
	その他	
	市税等	15 万円

③ 城山体育館の大規模改修及び空調設置工事 ・ 駒ヶ谷体育館の設備改修及び空調設置工事設計（公園みどり課）

《事業の目的》

老朽化による城山体育館の大規模改修を行い、施設の長寿命化を図るとともに、アリーナ部分に空調を設置し、平常時における体育館利用者の熱中症対策及び大規模災害時における避難所の環境改善を図ります。また、駒ヶ谷体育館についても、設備改修及び空調設置のための設計を行います。

《事業の内容》

◆ 城山体育館の大規模改修及び空調設置工事

2 億 4, 880 万円

(債務負担行為: R6 3 億 7, 320 万円)

◆ 駒ヶ谷体育館の設備改修及び空調設置工事設計

1, 536 万円

※ 公共施設等整備基金を活用して実施します。

事業費		2 億 6, 416 万円
財源	国・県	
	市債	2 億 4, 350 万円
	基金	2, 066 万円
	市税等	

④ 救助工作車の更新（消防本部）

《事業の目的》

老朽化した救助工作車を更新することで、消防力を強化し、市民の安全・安心を守ります。

《事業の内容》

◆ 車両購入費

2 億 1, 834 万円

◆ 重量税等事務費

30 万円

* 救助工作車は、火災や交通事故等のあらゆる災害現場に対応できる様々な救助資機材を積載し、救助活動全般において重要な役割を担っている車両です。

事業費		2 億 1, 864 万円
財源	国・県	
	市債	2 億 1, 830 万円
	その他	
	市税等	34 万円

ウ 子ども・子育ての安心

①【新】子ども家庭センター設置関連事業（すくすく子育て課・子ども家庭課）

《事業の目的》

子育てに関する悩みを身近なところで気軽に相談できるなど安心して子どもを育てられるよう支援の充実を図ります。

《事業の内容》

子ども家庭センター設置

・全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に相談支援を行う機関として、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を一体化した『子ども家庭センター』を設置し、アウトリーチ型及び伴走型相談支援体制の構築を図ります。

- ◆【新】未就園児等全戸訪問事業（アウトリーチ支援事業）（子ども家庭課） 280万円
・就学前施設（保育所、幼稚園、認定こども園等）に在籍していない未就園児等の居宅を訪問し、児童・家庭の困りごとを把握し、必要な支援・サービスにつなげます。
- ◆【新】子育て世帯訪問支援事業（ヤングケアラー支援）（すくすく子育て課） 24万円
・ヤングケアラー等要支援家庭に対して家事ヘルパーを派遣し養育環境を整えます。

事業費		304万円
財源	国・県	151万円
	市債	
	その他	
	市税等	153万円

②【拡】三田版ネウボラ拠点の拡充と産後ケアの充実（すくすく子育て課）

《事業の目的》

ウッディタウン地区に市内4番目となるネウボラ拠点（妊娠・出産・子育ての総合相談窓口）を開設するとともに、各拠点をオンラインでつなぎ、相談やWEB会議が行える環境を整備します。

あわせて、産後心身に不調を抱える母子を早期に支援するため、産後ケア事業の更なる充実を図ります。

《事業の内容》

- ◆【拡】ウッディタウン地区チャッピーサポートセンター開設 136万円
 - ◆【新】市内ネウボラ拠点デジタル環境整備 140万円
（本庁・保健センター・多世代交流館・ウッディタウン市民センター）
 - ◆【拡】産後ケア（訪問型及び日帰り6時間型の創設） 96万円
 - ◆産後ケア（宿泊型・日帰り3時間型・事務費等） 98万円
- ※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		470万円
財源	国・県	241万円
	市債	
	その他	144万円
	市税等	85万円

③【拡】妊婦健康診査助成事業（すくすく子育て課）

《事業の目的》

妊婦健康診査費用の助成額増額及び多胎児妊婦に対する助成額上乘せすることで、安心して出産を迎えるために大切な妊婦健康診査の受診促進を図ります。

《事業の内容》

- ◆【拡】妊婦健康診査費用の助成 6,169万円
*上限額 90,000円から106,000円に引き上げ
- ◆【新】多胎児妊婦に対する妊婦健康診査費用の助成（上限額25,000円） 38万円

事業費		6,207万円
財源	国・県	19万円
	市債	
	その他	
	市税等	6,188万円

エ 高齢者の安心

①【新】認知症高齢者等支援事業（いきいき高齢者支援課）

《事業の目的》

小型軽量の見守りタグを貸与し、認知症の人が行方不明になっても移動経路等を把握し早期発見につながられるようにすることで、本人や家族が安心して暮らし続けられるまちを実現します。

《事業の内容》

- ◆ 交通要所等への感知器の設置、協力依頼
- ◆ 専用アプリサポーターの普及活動（アプリインストールの協力依頼）
- ◆ 認知症サポーター養成講座の受講促進

事業費		151万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	151万円

②【新】VR認知症体験教室（いきいき高齢者支援課）

《事業の目的》

「認知症の人と共に生き支え合うまちづくり条例」の施行に伴う啓発事業として、認知症についての正しい知識を得るための市民向けの体験講座を実施します。

《事業の内容》

- ◆ VRによる認知症体験会の実施
- ◆ 認知症共生条例についての説明会の開催

*介護保険事業特別会計予算

事業費		57万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	57万円

③【拡】認知症予防教室事業（いきいき高齢者支援課）

《事業の目的》

認知症への理解促進、予防、早期発見・対応及び健康づくりを一体的に推進するため、神戸大学の協力のもと、神戸大学認知症予防推進センターが提供する「コグニケアプログラム」を活用した認知症予防教室をオンライン形式で実施します。

《事業の内容》

- ◆ 頭と体の運動習慣を身につける「頭と体の運動教室」
- ◆ 認知症予防や健康づくりについて学ぶ「健康づくりセミナー」
- ◆ 自身の健康状態をチェックする「健康状態の見える化」

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

事業費		166万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	166万円
	市税等	

オ 心つながる暮らしの安心

①【新】『つながる 寄りそう 支えあう 共生のまち さんだ』推進事業 <重層的支援体制整備移行準備事業> (地域福祉課)

《事業の目的》

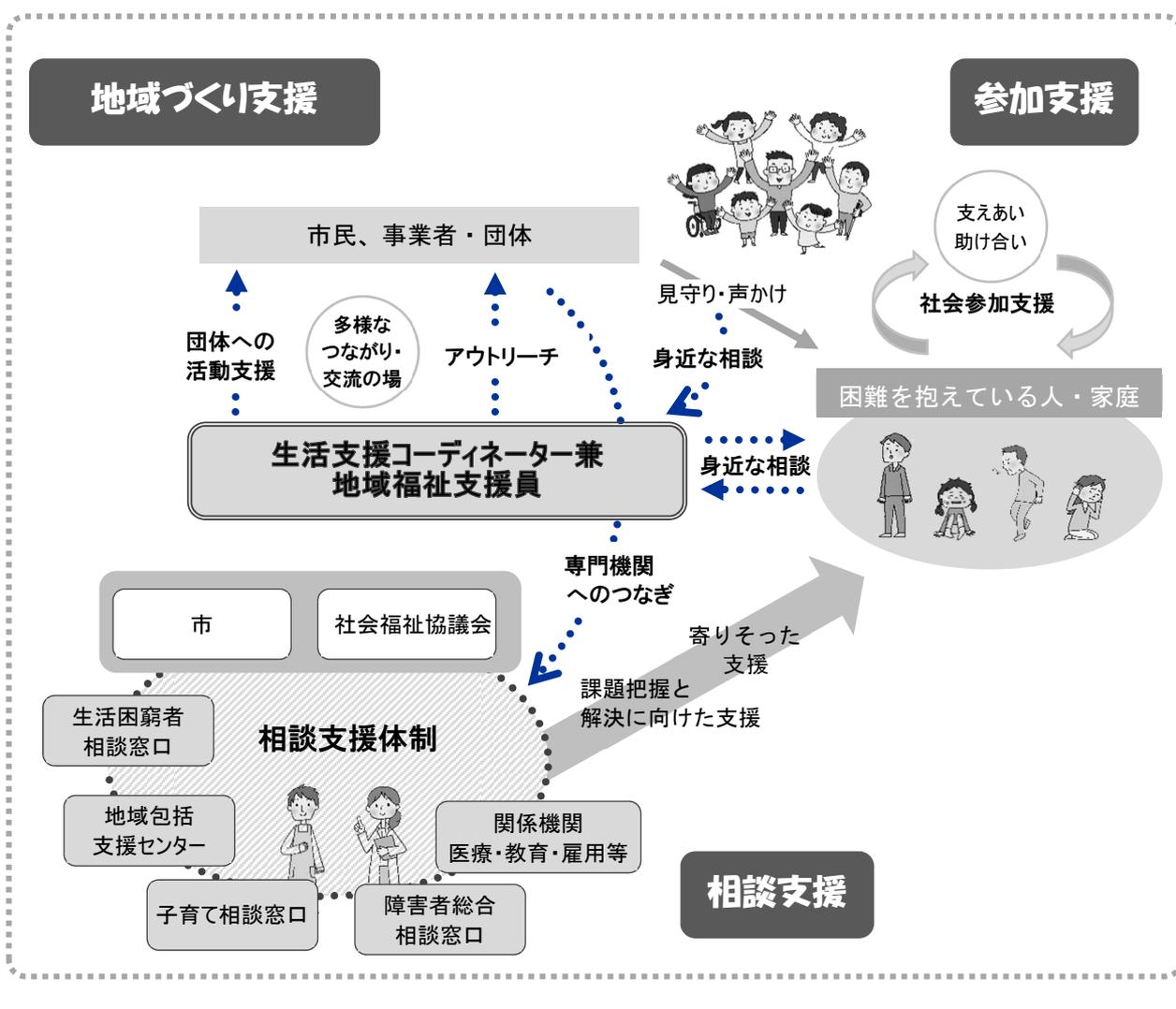
身近でゆるやかにつながる「地域づくり」への支援、困りごとを受けとめ支える「相談」支援、一人ひとりの居場所や役割など多様な社会「参加」に向けた支援の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制により、誰もが自分らしく安心して暮らせる共生のまちづくりを進めます。

事業費		2,400万円
財源	国・県	787万円
	市債	
	その他	
	市税等	1,613万円

《事業の内容》

令和7年度の本格実施に向けた移行準備として、「地域づくり」への支援、「相談」支援の体制整備を進めるため、現在、市内6圏域に配置している生活支援コーディネーター兼地域福祉支援員（以下、「支援員」という。）の機能を強化します。

- ・身近な地域で世代・属性を問わない相談支援機能を充実するため、支援員に19～64歳の人への相談機能を付加します。
- ・支援員の管理者を地域づくり支援マネージャー（仮称）として位置づけ、相談等を通じて見えた地域課題を集約・分析し、多種多様な「つながり・交流の場」を創出するとともに、アウトリーチ機能を強化します。



(3) “三田らしい” 活力と交流のあるまち

ア 商工業の振興



①【新】スタートアップアカデミー事業（産業政策課）

《事業の目的》

将来のキャリア選択の一つとして、広く起業への意識醸成を図るため、高校生向け起業家育成講座を開催します。

《事業の内容》

- ◆ 講座開催委託経費

事業費		20万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	20万円

②【新】オールドニュータウン商業施設等空き区画活用支援事業（産業政策課）

《事業の目的》

地域経済の活性化を目的として、オールドニュータウン内の商業施設等（テナントビル等）の空き区画に新たな店舗等を誘致するため、開設等に要する経費の一部を支援します。

《事業の内容》

- ◆ 対象団地 フラワータウン、つつじが丘
- ◆ 対象経費 店舗賃借料、内装工事費、ファサード（建物前面）整備費等
- ◆ 補助金額 2/3 補助（上限：1年目300万円、2年目100万円、3年目100万円）

事業費		900万円
財源	国・県	519万円
	市債	
	その他	381万円
	市税等	

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

③【拡】チャレンジショップ応援事業（産業政策課）

《事業の目的》

地域に根差した起業家を発掘し育成することを目的に実施していた家賃補助事業について、対象となる経費を拡充し、スタートアップ支援のさらなる充実を図ります。

《事業の内容》

- ◆ 補助対象 家賃、初度備品購入費、内外装工事費、広告宣伝費
- ◆ 補助金額 1/2 補助（上限50万円）

事業費		200万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	200万円

④【新】サテライトオフィス企業需要調査（産業政策課）

《事業の目的》

新たな企業進出の誘導に向け、サテライトオフィスを検討している企業のニーズなどについて、調査・分析を行います。

《事業の内容》

- ◆ 企業需要調査

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

事業費		50万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	50万円
	市税等	

イ 農業の振興

①【新】農業研修受講料助成事業（農業創造課）

《事業の目的》

多様な農業者の育成を図るため、市内での就農を目指す人に対して、県内研修機関が実施する農業研修の受講料を支援します。

《事業の内容》

- ◆ 県内研修機関受講に要する費用助成（補助上限額 5 万円）

事業費		30 万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	30 万円

②【新】産地生産基盤パワーアップ事業（農業創造課）

《事業の目的》

生産体制整備等の収益力強化に取り組む事業者を国の補助事業を活用しながら支援します。

《事業の内容》

- ◆ ライスセンター整備事業補助（補助率 1 / 2）

事業費		2 億 2,900 万円
財源	国・県	2 億 2,900 万円
	市債	
	その他	
	市税等	

③【新】集落営農活性化プロジェクト促進事業（農業創造課）

《事業の目的》

集落営農の活性化に向けたビジョンづくりや高収益作物の試験栽培、共同利用機械の導入など、国の補助事業を活用しながら地域の状況に応じた集落営農組織の取り組みを支援します。

《事業の内容》

- ◆ 高収益作物の試験栽培、共同利用機械の導入等事業補助

事業費		1,000 万円
財源	国・県	1,000 万円
	市債	
	その他	
	市税等	

ウ 観光・交流・文化の振興

①【拡】三田まつり開催費補助金（まちのブランド観光課）

《事業の目的》

三田を代表する観光資源である「三田まつり」開催にかかる費用の一部を補助します。

三田への「愛情」と「誇り」を育み、次世代に繋ぎ、多くの方々の思い出に残るまつりを目指します。

《事業の内容》

- ◆ 実行委員会補助金
- ◆ 開催時期 8 月上旬（予定）

事業費		750 万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	750 万円

②【新】千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業（政策課）

《事業の目的》

千丈寺湖畔周辺の優れたロケーションや豊かな自然環境のもと、SDGs の理念を活かした民間事業者によるアウトドア施設の整備誘致や体験型プログラム等を展開することで、周辺地域の活性化を推進します。

事業費		1,067万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	1,067万円

《事業の内容》

- ◆ 事業協力者選定のためのサウンディング調査等支援業務 1,000万円
- ◆ SDGs 体験型イベント開催経費ほか事務費 67万円

(4) 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち ア まちの再生



①【拡】ニュータウン再生事業（都市政策課）

《事業の目的》

持続可能なまちを目指し、ニュータウン再生モデル事業として「フラワータウン再生ビジョン」に基づく具体的な取り組みを推進します。

事業費		656万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	656万円

《事業の内容》

- ◆ まちづくりの新たな担い手創出支援業務委託 400万円
- ◆ 公園・歩道空間を活用する社会実験（イベント）実施補助 200万円
- ◆ 官民連携による推進委員会の開催、その他事務に関する費用 56万円

② 三田駅前Cブロック地区推進事業（都市整備課）

《事業の目的》

Aブロック（三田駅前一番館等）、Bブロック（三田駅前ハートシティ）、Dブロック（レバンテ三田）との相乗効果により、三田駅前の活性化と都市機能の充実を図るため、Cブロック地区の整備を推進します。

事業費		16億5,444万円
財源	国・県	8億2,400万円
	市債	8億1,100万円
	その他	
	市税等	1,944万円

《事業の内容》

三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業にかかる各種調査、補償、除却工事、施設工事等を実施する施行者に公共施設管理者負担金、補助金等を交付します。

- ◆ 公共施設管理者負担金 13億5,820万円
- ◆ 市街地再開発事業費補助金 2億9,600万円
- ◆ 事務費等 24万円

③ 相野駅北地区、広野地区まちづくり計画（都市整備課）

《事業の目的》

相野駅北地区、広野地区の住民により取り組まれている地域に根ざしたまちづくり活動を支援し、土地利用等の推進を図ります。

《事業の内容》

- ◆ 相野駅北地区土地区画整理基本設計業務
- ◆ 広野地区土地区画整理設計業務
- ◆ 事務費等

事業費		3,540万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	3,540万円

832万円
2,648万円
60万円

④ 【新】第三テクノパーク測量・基本設計業務（都市整備課）

《事業の目的》

地域経済の持続的な発展と雇用の拡大・創出を促進するため、新たな産業集積の拠点となる新産業団地（第三テクノパーク）の整備を進めます。

《事業の内容》

- ◆ 現況測量・基本設計等業務委託

事業費		3,300万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	3,300万円

イ 交通ネットワーク

① 新モビリティ実証実験推進補助事業（交通まちづくり課）

《事業の目的》

フラワータウンにおいて、近距離移動・住区内移動に適した新モビリティを運行し、外出の機会を増やすことで賑わいの創出や健康の増進を図り、誰もが住みよいまちの実現を目指します。

《事業の内容》

- ◆ 住民ニーズを引き出すための運行方法の検証
- ◆ 事業採算性の確保に向けたモデルの検討

事業費		400万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	400万円

② 【拡】地域外出支援おでかけサポート事業（交通まちづくり課）

《事業の目的》

交通不便地において、地域住民が主体となり地域の実情に応じた、持続可能な新たな地域内交通の導入を進めます。

《事業の内容》

- ◆ 交通空白地有償運送事業（広野地区・小野地区） 401万円
- ◆ 【拡】地域内公共交通試験運行 242万円
- ◆ 地域外出支援活動事業補助 30万円

事業費		673万円
財源	国・県	
	市債	
	使用料	57万円
	市税等	616万円

(5) 「さと」の恵みを守り、活かすまち
ア 水の保全



① 【新】三田の水 PRの取組み（上水道課）

《事業の目的》

今後、水需要の減少が水道事業運営の課題となる中、水道水の安全性やおいしさを実感し、飲用などの利用を促進するとともに、マイボトルの活用など脱炭素にも配慮した取組みを進めます。

《事業の内容》

- ◆ 給水スポット設置事業（市役所敷地内に1台設置）
- ◆ ミストシャワー機器レンタル事業

* 三田市水道事業会計予算

事業費		655万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	655万円
	市税等	

650万円
5万円

② 【新】内水ハザードマップ作成に向けた基礎検討業務（下水道課）

《事業の目的》

大雨時に水路からの浸水が想定される区域や浸水の深さなどの情報をまとめたマップを作成し、日頃からの備えや避難行動に活用していただけるよう周知に努めます。

令和6年度に浸水シミュレーション、7年度にマップの作成を行い、ホームページなどで公開します。

* 河川に排水できない程の大雨が降り続いた場合に、水路から雨水があふれること（内水氾濫）による浸水想定区域図

《事業の内容》

- ◆ 基礎検討業務委託

* 三田市下水道事業会計予算

事業費		2,800万円
財源	国・県	1,400万円
	市債	
	その他	
	市税等	1,400万円

イ 里山・自然の保全

① 【新】街路樹適正化事業（道路河川課・公園みどり課）

《事業の目的》

大木化や密集している街路樹を伐採及び剪定することで、魅力ある緑景観を守りながら、街路樹を計画的・持続的かつ適切に育成・管理していきます。

《事業の内容》

- ◆ 街路樹伐採事業（道路河川課）
- ◆ 街路樹適正化に係る合意形成支援業務（道路河川課）
- ◆ 街路樹剪定事業（公園みどり課）

事業費		4,150万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	4,150万円

3,000万円
150万円
1,000万円

②【新】木の駅プロジェクト推進事業（里山のまちづくり課）

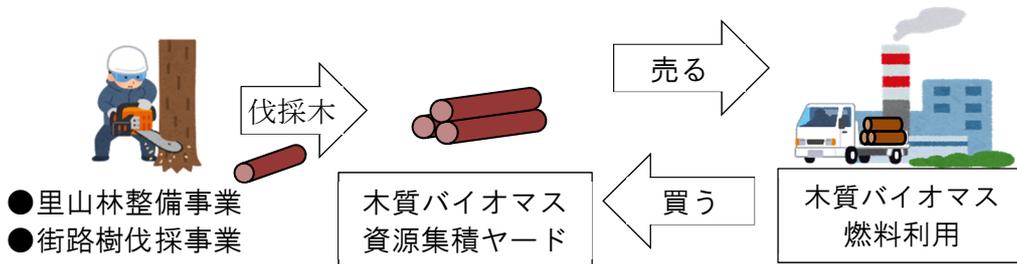
《事業の目的》

里山整備等により発生する伐採木を薪や木質バイオマス燃料等として資源循環する仕組みづくりを進めます。

《事業の内容》

- ◆ 集落周辺里山林整備設計業務委託 330万円
地域で里山林を再生する活動支援として、市が土地所有者に代わり集落周辺の里山整備を実施（整備後、地域と市で10年間の維持管理協定締結）
- ◆ 里山整備の安全対策に関する知識・技術を習得する担い手育成講座 13万円
- ◆ 木質バイオマス資源集積ヤード整備 170万円
- ◆ 伐採木の木質バイオマス利用検討意見交換経費 10万円

事業費		523万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	523万円



ウ 持続可能な環境づくり

①【新】バイオマスプラスチックを使用した指定ごみ袋作成（クリーンセンター）

《事業の目的》

最も使用の多い「燃やすごみ袋（大）」の原料に、バイオマスプラスチック（植物などの再生可能な有機資源）を使用し、温室効果ガスの排出抑制を図ります。

《事業の内容》

- ◆ バイオマスプラスチックを使用した指定ごみ袋の作成
※グリーン・クリーン基金を活用して実施します。

事業費		5,412万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	5,412万円
	市税等	

② 新ごみ処理施設整備事業（クリーンセンター）

《事業の目的》

現在のごみ処理施設であるクリーンセンターの老朽化に伴い、焼却エネルギーの利活用を見据えた新ごみ処理施設を整備するため、R5年度に事業者選定支援業務を行います。

また R6 年度より施設整備及び運営の委託及び設計・工事監理委託が必要となるため、債務負担行為を設定します。

《事業の内容》

- ◆ 事業者選定支援業務 375万円
- ◆ 施設整備・運営事業 債務負担行為：R5～29 389億1,552万円
- ◆ 設計・工事監理 債務負担行為：R5～10 2億4,750万円

事業費		375万円
財源	国・県	125万円
	市債	
	その他	
	市税等	250万円

(6) その他

ア 公共施設マネジメント

① 公共施設維持補修費（各施設所管課）

《事業の目的》

各施設の目的・用途等を考慮し、その機能を維持するとともに、利用者の安全・安心な施設利用を図るために必要な改修等を行います。

事業費		13億7,745万円
財源	国・県	
	市債	11億9,170万円
	基金	1億円
	市税等	8,575万円

《事業の内容》

- ◆ フラワータウン市民センター大規模改修設計（協働推進課） 2,159万円
（財源：市債1,940万円、基金219万円）
- ◆ 市民センター大規模改修工事（協働推進課） 3億1,618万円
・高平ふるさと交流センター（財源：市債1億円、基金1,120万円）
（債務負担行為：R6 1億6,680万円）
・さんだ市民センター（財源：市債1億8,440万円、基金2,058万円）
（債務負担行為：R6 3億746万円）
- ◆ 旧市民病院リハビリ棟解体工事設計・除却工事（文化スポーツ課） 1,743万円
（債務負担行為：R6 1,542万円）
（財源：市債920万円、市税等823万円）
- ◆ 野外活動センターつどい橋拡幅工事（文化スポーツ課） 2,880万円
（債務負担行為：R6 4,320万円）
（財源：市債2,160万円、市税等720万円）
- ◆ 三田保育所大規模改修工事（保育振興課） 2億3,400万円
（財源：市債2億1,050万円、基金2,350万円）
・大規模改修工事、太陽光発電設備設置
- ◆ ごみ処理施設修繕等（クリーンセンター） 3億795万円
（財源：市債2億6,340万円、基金1,872万円、市税等2,583万円）
・燃焼設備、熱交換設備、電気・計装設備等の整備、修繕等
- ◆ 環境センター施設点検、修繕等（クリーンセンター） 4,539万円
（財源：市債660万円、市税等3,879万円）
・焼却設備、水槽、熱交換器等の点検整備、修繕、
曝気プロインバーター修繕等
- ◆ 環境センター旧管理棟等解体工事（クリーンセンター） 7,777万円
（財源：市債7,770万円、市税等7万円）
- ◆ 城山体育館の大規模改修及び空調設置工事・駒ヶ谷体育館の
設備改修及び空調設置工事設計（公園みどり課）【P29参照】 2億6,416万円
（財源：市債2億4,350万円、基金2,066万円）
- ◆ 消防本部西分署改修工事（消防本部） 4,395万円
（財源：市債4,080万円、基金315万円）
- ◆ 消防団第3分団器具庫解体〔北浦・旧広野器具庫〕（消防本部） 2,023万円
（財源：市債1,460万円、市税等563万円）

※公共施設等整備基金を活用して実施します。

② 学校、給食センター維持補修費等（各施設所管課）

《事業の目的》

老朽化が進む学校、給食センターの施設や設備の維持補修等を適切に実施し、児童生徒が安全かつ円滑に学校生活を送れる環境を整備します。

《事業の内容》

- ◆ プール槽・ろ過装置修繕（教育総務課）
・小学校 13 校・中学校 6 校
- ◆ 放送設備取替修繕（教育総務課）
・小学校 2 校・中学校 1 校
- ◆ 非常用放送設備修繕（教育総務課）
・中学校 2 校
- ◆ 学級増に伴う空調整備（教育総務課）
・小学校 3 クラス

事業費		1億5,852万円
財源	国・県	2,389万円
	市債	8,870万円
	基金	2,618万円
	市税等	1,975万円

小学校 2,000万円
 中学校 800万円
 （財源：基金 825万円
 市税等 1,975万円）
 ※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

- ◆ 小・中学校洋式便器改修工事（教育総務課）
（財源：市債 1,430万円、基金 170万円）
※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。 1,600万円
- ◆ 小・中学校 LED 照明器具改修工事（教育総務課）
（財源：国 2,389万円、市債 5,790万円、基金 1,436万円）
※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。 9,615万円
- ◆ ゆりのき台給食センター蒸気ボイラー更新（学校給食課）
（財源：市債 1,650万円、基金 187万円）
※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。 1,837万円

③ 小学校大規模改修事業（三輪小学校大規模改修設計）（教育総務課）

《事業の目的》

校舎などの大規模改修工事を行うことで、子どもたちの安全・安心で質の高い学校生活を確保し、教育環境の整備を図ります。

《事業の内容》

- ◆ 三輪小学校改修事業設計業務
 - ・施設概要 築 57 年（昭和 41 年）、鉄筋コンクリート造 3 階建て
延床面積 5,758 m²
 - ・R5：工事設計業務
 - ・R6～R10：改修工事

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		5,609万円
財源	国・県	
	市債	5,040万円
	基金	569万円
	市税等	

④ 公共施設マネジメントにかかる基金積立金（3月補正）（財政課）

《事業の目的》

「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設マネジメント推進に向けた基本方針」などに基づく公共施設マネジメントを実施するための財政的な対応として基金への積み立てを計画的に実施します。

事業費		3億円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	3億円

《事業の内容》

◆ 公共施設等整備基金への積立

* 令和5年度の積み立て予定額を令和4年度に前倒しして積み立てます。

イ 専門人材の確保・育成

① 【新】技術系（土木・建築）学生向け奨学金制度（人事課）

《事業の目的》

市役所を志望する技術系の学生が減少し、職員採用が困難な状況が続いているため、学業支援を通じて三田市職員への興味・関心を高めることで、採用試験応募者数の増加を図り、安定的な人材の確保につなげます。

これにより、組織としての技術・ノウハウの継承を着実に進め、公共施設マネジメント等の技術的施策を円滑に遂行します。

事業費		144万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	144万円

《事業の内容》

◆ 三田市技術職員（土木・建築）を目指す学生を対象とした奨学金制度の創設